

みんなで協力！希望を持って

11月23日、川薩地区母子寡婦福祉大会が町改善センターで320名が参加して開催されました。

主催者代表の黒武者キミ子会長は「母子家庭の実情は厳しいが生活を守っていくのは私たちです。行政ばかりに頼るのではなく、自分たちでできることは自分たちで。自分で自分の人生を作ってゴールまで輝いてください。」とあいさつしました。

大会では「私はこう生きてきた、今思うこと。」と題された体験発表がおこなわれ、夫に死別され貧しかった生活の中でも希望を持って生きたことや、死線を越えて大陸から帰国した戦争体験などが語られると、苦しかった自分の思い出と重なるのか会場の参加者も涙を浮かべながら聞いていました。

また午後からは健康づくりに関する講演、アトラクションなどもおこなわれ、参加者同士の交流が図られたようでした。

体験発表の模様



再び悲惨な戦争を起こさないために

11月16日、戦没者慰霊祭が町戦没者慰霊碑前で開催されました。

当日は遺族や町関係者など約150名が参加。慰霊碑の前で、国歌斉唱、黙とうの後、山口町長が「先の大戦から59年が過ぎ、日本は今、平和と民主主義の上に発展を遂げていますが、これも祖国のために尊い命を捧げられた皆さまのご加護の賜物です。遺族も高齢化し戦争の悲惨さを語り伝えることが難しくなりつつありますが、私たちは今後も、ご遺族の方と力を合わせ、明るい平和な町づくりに努力することを誓います。」と慰霊の言葉を述べました。

式典はその後、献詠、参加者全員による献花と続き、遺族は若くして戦場で散っていった在りし日の故人の笑顔を思い出しているようでした。

慰霊祭での献花の様子



びっくり箱



もし一つだけ願いがかなうとしたら（求名小一年生の作品）

上原 良太君

◎田植機やコンバインを動かす人になって、運転をしたいです。

木内やよいさん

◎花屋さんになって、先生に来てもらいたいです。赤いチューリップや黄色のチューリップをお店にいっぱい並べて、お客さんに買ってもらいたいです。

東 由衣加さん

◎スチューワ德斯になりたいです。そしてお金をためて、ドイツニールランドに行って、ミッキーマウスを見たいです。

下土橋 舞さん

◎ケーキ屋さんで働きたいです。そしてお客さんが「おいしい。」というケーキを作りたいです。あと、でっかいケーキを作りたいです。

戸越明日香さん

◎美容師になりたいです。お母さんが、美容師になってねといったからです。

谷山 美里さん

◎英語の先生になりたいです。今、英語を習っているから、わからない英語もわかるようになりたいです。

七瀬 直香さん

◎歌手になりたいです。それで自分で作った歌を舞台上で歌いたいです。マイクを持って歌うと楽しそうだし、もう一つは有名になりたいです。

小永田つぐみさん

◎プラッセダイワでレジ係をしたいです。レジの人が、とてもはやく計算をしていたのでそろばんを習っているわたしもやってみたいです。

本村真梨子さん

◎早く大きくなって、ケーキ屋さんになりたいです。クリームケーキを作って、家族みんなに食べさせたいです。それから一回だけ、ケーキをひとりじめして食べたいです。

〔詩〕

はさみ

求名小二年 姉川奈央さんはさみって、ほうちようみたい。なんでもきれる。チョッキン。チョッキン。